

新はしご車の導入について



「屈折はしご付消防車(MSC)」は、屈折、伸縮ブームを搭載する消防自動車です。従来のはしご車、あるいは直進型はしご車と比較しても車体そのものが大幅に小型化され、従来のはしご車では走行できなかった道路や右左折困難な交差点において機動性に優れています。また、アウトリガーを伸梯側の片側だけしか使用しない「ワンサイドモード」により、建物や他の車両等、障害のある現場でも最小限のスペースで消火・救助活動が行えます。

直進型では回避しづらい電柱・電線・フェンスといった高所での障害も、伸縮ブーム&屈折ブームにより、障害物を回避して目的地点への接近が可能となります。

先端のバスケットは左右それぞれ45度の範囲で首振り構造になっているため、構造物などに対してバスケットを平行な状態に保って目的地へ接近することができ、従来よりもより安全に要救助者の救出することができます。バスケット上にはアルミ軽量構造の平担架を設置することも可能です。

さらに、屈折ブームは地表約マイナス6m（バスケット底面）まで下降が可能なことも特徴で、橋脚から河川へなど水難事故・ガケ下からの救助活動などでも大きな力を発揮します。

- 1 運用開始日時 平成30年12月1日（土）8時30分～
- 2 車両概要及び主要資機材

車名	日野プロフィア
乗車定員	6人
最大地上高	26.05m
車両サイズ	全長9m 全幅2.5m 全高3.7m
主要資機材	救助マット、平担架、エンジンカッター等

